

富津市公立保育所の現状について

1 保育所(園)の現状について

(1) 保育所(園)の入所(園)状況

公私立保育所(園)における平成28年2月1日現在の入所(園)児童数は、公立が252人で定員に対する入所(園)率は61.5%であり、私立は519人で103.8%です。また認定こども園の保育認定の入園児童数は23人で54.8%であり、合計794人で83.4%です。

年度途中で保育が必要となる児童の入所もあり、今年度平成27年4月1日時点の状況は、公立が228人で55.6%、私立が473人で94.6%、認定こども園が15人で35.7%であり、合計716人で75.2%でした。よって年度当初に比べ公立は24人、入所率で5.9%、私立は46人、入園率で9.2%、認定こども園は8人で入園率19.1%の増となっています。

なお、2月1日現在の保育所(園)の入所率を比較すると私立は公立に対して、42.3%上回っています。

入所(園)児童数

(上段：平成27年4月1日現在、下段：平成28年2月1日現在、単位：人・%)

	施設名	定員	入所(園)児童数							入所(園)率
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
公立	飯野保育所	100	4	7	10	13	15	16	65	65.0
			6	6	10	15	15	16	68	68.0
	吉野保育所	50	0	6	7	3	8	10	34	68.0
			3	7	7	3	8	10	38	76.0
	佐貫保育所	40	0	0	2	4	3	3	11	27.5
			1	1	3	5	2	3	15	37.5
	中央保育所	80	1	6	8	14	8	14	51	63.8
			4	7	10	15	8	14	58	72.5
	竹岡保育所	40	0	2	2	5	5	3	17	42.5
			1	2	1	5	5	3	17	42.5
	金谷保育所	40	0	3	3	0	4	7	17	42.5
			0	3	4	0	4	7	18	45.0
	峰上保育所	60	2	4	3	6	12	6	33	55.0
			4	4	5	7	13	5	38	63.3
	公立計(7所)	410	7	28	35	45	55	59	228	55.6
			19	30	40	50	55	58	252	61.5
私立	富津保育園	150	7	23	20	39	26	25	140	93.3
			19	28	24	39	26	26	162	108.0

	大貫保育園	60	2	9	1	0	1	3	16	26.7
			18	10	2	0	1	3	34	56.7
	和光保育園	90	3	5	17	23	25	31	104	115.6
			8	5	19	22	23	31	108	120.0
	青堀保育所	200	5	35	40	37	53	43	213	106.5
			7	36	40	37	52	43	215	107.5
私 立 計 (4 園)		500	17	72	78	99	105	102	473	94.6
			52	79	85	98	102	103	519	103.8
認 定 こ ど も 園		42	0	1	3	4	3	4	15	35.7
			2	1	4	5	7	4	23	54.8
合 計 (1 2)			24	101	116	148	163	165	779	78.5
			73	110	129	153	164	165	794	83.4

(2) 保育所の保育士等の配置状況

保育士等の配置は、県の基準等により0歳児3人当たり1人、1歳以上3歳未満児6人当たり1人、3歳児20人当たり1人、4歳以上児30人当たり1人を施設長を含めずに配置し、また定員90人以下は1名加算し、さらに非常勤保育士1名を配置することとなっています。

平成28年2月1日現在の保育士の配置状況は、所長7人、保育士51人(うち育休3人、短時間8人除く)、調理員14人、子育て支援課に栄養士1人となっています。

なお、保育士不足により、育休代替職員の補充もままならない状況で各施設とも余裕のない状況となっています。

保 育 士 等 配 置 数

(平成28年2月1日現在)

保育所名	児童数	保育士数			栄養士	備 考
		県配置 基準数	実配置数 (うち非正規)	短 時 間 (非正規)		
飯野保育所	68	7	11(5)	(1)	子 育 て 支 援 課 に1名	育休代替1、障害 児加配3人
吉野保育所	38	6	6(2)	(1)		育休代替無し
佐貫保育所	15	3	3(0)	(1)		育休代替無し
中央保育所	58	8	10(5)	(2)		障害児加配2人
竹岡保育所	17	3	4(1)	(1)		
金谷保育所	18	3	4(1)	(1)		

峰上保育所	38	6	6(2)	(1)		
公立計	252	36	44(16)	(8)	1	

注) 保育士に所長は除いています。飯野を除き定員90人以下のため、1人加算。

(3) 保育所(園)の保育サービス等の状況

保育サービス等について、公立は基本保育時間を8:30~16:30の8時間とし、時間外保育を朝1時間(7:30~8:30)と夕方2時間(16:30~18:30)実施し、11時間開所しております。また、産休明けから受入れる乳児保育、障害児保育及び入所していない児童を一時的に預かる一時保育を実施しています。

私立は基本保育時間、については公立とほぼ同じですが、11時間の開所時間を超える延長保育を実施し、12時間から14時間、開所しております。乳児保育は4園全てで実施しておりますが、病後児保育、休日保育、一時保育や送迎バスの運行など保育園により保育サービスに違いがあります。

保 育 内 容 等

(平成27年4月1日現在)

	公立保育所	私 立 保 育 園			
		富 津	大 貫	和 光	青 堀
基本保育時間	8:30~ 16:30	8:30~ 16:30	8:30~ 16:30	8:00~ 16:00	8:30~ 16:30
開所時間	7:30~ 18:30	7:00~ 20:00	6:00~ 20:00	7:00~ 19:00	7:00~ 20:00
	11時間	13時間	14時間	12時間	13時間
乳児保育	産休明け	産休明け	生後30日明け	産休明け	産休明け
障害児保育	○	○	○	○	○
土曜平常保育	飯野・中央のみ その他7:30~ 12:30	○	○	○	○
休日保育	—	○	○	—	○
送迎バス	—	○	○	—	○
一時保育	○	○	○	—	○
その他 保育サービス	—	病後児保育	—	地域子育て 支援センター	地域子育て 支援センター

※地域子育て支援センターは、子育て相談や情報提供、子育て世帯の交流・出会いの場の提供、育児サークルの育成、講習等を実施します。

(4) 公立保育所の建物及び敷地の状況

建物については、佐貫保育所の増築(平成12年)を除き、昭和50年から昭和62年にかけて建築されたものであり、前述の佐貫保育所及び昭和62年建築の吉野保育所を除き、築30年を経過しています。特に金谷保育所は、唯一の木造で40年が経過しています。このような状況から近年は、屋根の改修や床の改修、受水槽の改修など大規模な修繕を実施しているところです。今後もさらに大規模な改修や建て替えも必要となってきます。

また、敷地については、市有地のみが5施設、市有地、国有地及び私有地が1施設(佐貫)、市有地と私有地が1施設(吉野)、私有地のみが1施設(峰上)という状況です。

公立保育所の建物及び土地の状況等

(平成27年4月1日現在)

保育名	定員 (人)	建物の状況				敷地の状況			
		区分	構造	建築年	面積(m ²)	所有別	面積(m ²)	備考	
飯野	100	*園舎	R	S.60	853.00	市有地	4,764.00		
		倉庫等	B	S.60	32.00				
		計							885.00
吉野	50	*園舎	R	S.62	450.00	市有地	3,900.15		
		倉庫等	R	S.62	15.00	私有地	12.85	273円/m ²	
		計				465.00	計	3,913.00	
佐貫	40	*園舎	R	S.60	450.00	市有地	2,032.27		
		*園舎	R	H.12	81.50				
		倉庫等	W	S.57	10.00	国有地	70.18	無償	
		石油 貯蔵庫	B	S.57	4.00	私有地	63.55	156円/m ²	
		計				552.95	計	2,166.00	
		駐車場	—	—	326.92	私有地	326.92	386円/m ²	
中央	80	*園舎	R	S.56	1,177.00	市有地	2,425.00		
竹岡	40	*園舎	R	S.59	509.00	市有地	2,993.00		
		倉庫等	B	S.59	10.00				
		計							519.00
金谷	40	園舎	W	S.50	379.00	市有地	2,089.00		
		倉庫等	B	S.50	11.65				
		計							390.65
峰上	60	*園舎	R	S.61	518.00	私有地(A)	1,890.99	287円/m ²	
		倉庫等	R	S.61	19.00	私有地(B)	1,724.00	287円/m ²	
		時計塔	R	S.61	14.00	私有地(C)	690.00	287円/m ²	
		計				551.00	計	4,322.99	

注) 1 建物の状況のうち構造欄中の「R」は鉄筋コンクリート造、「B」はコンクリートブロック造、「W」は木造を示します。

注) 2 建物の状況のうち区分欄中の*印は「新耐震設計基準」に基づく建物を示します。

2 児童数の推移

(1) 平成6年度からの推移

【富津地区】 公立（飯野保育所）、私立（富津保育園、青堀保育園）

3歳から5歳児は、平成6年度と比べると40人減少しているが、平成11年度からはほぼ横ばいである。

1・2歳児は、平成6年から徐々に増加し、現在は倍以上となっている。

0歳児においても徐々に増加し、平成6年度の5倍、平成11年度のほぼ倍に増加している。

なお、27年度が前年26度より大きく減少している主因は、青堀保育園において途中入所が受けられなかったことによるもので、需要は依然として高い。

年齢	H6	H11	H16	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
5歳児	127	83	101	92	88	91	89	90	97	85
4歳児	96	103	96	88	91	90	90	94	84	93
3歳児	86	71	78	95	83	88	93	76	91	91
3～5計	309	257	275	275	262	269	272	260	272	269
2歳児	39	46	59	63	68	73	58	73	75	74
1歳児	22	32	39	56	58	40	63	65	62	70
1・2計	61	78	98	119	126	113	121	138	137	144
0歳児	6	16	22	39	43	51	56	44	49	30
計	376	351	395	433	431	433	449	442	458	443
定員	480	470	470	470	470	470	470	470	470	450

※網掛け太字は最大値、太字のみは最小値。以下同様。

【大佐和地区】 公立（吉野保育所、佐貫保育所）、私立（大貫保育園、和光保育園）

3歳から5歳児は、平成6年度と比べると68人減少しているが、平成22年度から徐々に減少し、ここ2年特に減少が著しい。

1・2歳児は、平成6年から徐々に増加し、現在は23人増加している。

0歳児においても徐々に増加し、平成23年度からほぼ横ばいで、特に今年度増加している。増加している要因は、青堀保育園に途中入園できず大貫保育園へ入園したことによるものが大きい。

年齢	H6	H11	H16	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
5歳児	74	53	56	57	58	51	41	52	36	47
4歳児	66	65	56	58	50	39	52	36	46	34
3歳児	39	50	36	45	31	42	35	43	37	30
3～5計	179	168	148	160	139	132	128	131	119	111
2歳児	18	23	24	21	27	29	31	25	22	31
1歳児	14	18	13	20	20	21	22	17	21	24
1・2計	32	41	37	41	47	50	53	42	43	55

0歳児	6	7	14	12	11	17	17	19	18	28
計	217	216	199	213	197	199	198	192	180	194
定員	270	230	242	260	260	260	260	260	260	240

【天羽地区】 公立（中央保育所、竹岡保育所、金谷保育所、峰上保育所）

3歳から5歳児は、平成6年度と比べると107人減少しており、平成22年度からはほぼ横ばいであったが、今年度減少が著しい。

1・2歳児は、平成6年から徐々に増加し、現在ほぼ倍増しているが、平成21年度からはほぼ横ばい状態である。

0歳児は、平成6年度・11年度と少数であったが、平成16年度から増減繰り返し、概ね10人前後で推移している。

年齢	H6	H11	H16	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
5歳児	94	55	50	44	29	41	32	32	38	29
4歳児	62	68	61	30	41	31	34	38	32	30
3歳児	37	36	37	36	29	29	37	29	29	27
3～5計	193	159	148	110	99	101	103	99	99	86
2歳児	13	14	16	20	22	23	22	19	24	20
1歳児	4	10	14	15	16	19	18	19	14	16
1・2計	17	24	30	35	38	42	40	38	38	36
0歳児	1	3	12	6	10	11	16	6	16	9
計	211	186	190	151	147	154	159	143	153	131
定員	320	280	280	280	280	280	280	280	280	220

【市全体】

市全体で見ると、3歳から5歳児は徐々に減少し、1・2歳児は年々増加している。0歳児は24年度まで年々増加しているが、その後は増減を繰り返している。

合計では、750人～800人前後の範囲で増減を繰り返しており、4・5歳児は今年度が最小値であり、1・2歳児は今年度が最大値となっている。少子化により3歳以上児は減少しているが3歳未満児は、保育需要が増加していることがうかがえる。

年齢	H6	H11	H16	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
5歳児	295	191	207	193	175	183	162	174	171	161
4歳児	224	236	213	176	182	160	176	168	162	157
3歳児	162	157	151	176	143	159	165	148	157	148
3～5計	681	584	571	545	500	502	503	490	490	466
2歳児	70	83	99	104	117	125	111	117	121	125
1歳児	40	60	66	91	94	80	103	101	97	110

1・2計	110	143	165	195	211	205	214	218	218	235
0歳児	13	26	48	57	64	79	89	69	83	67
計	804	753	784	797	775	786	806	777	791	768
定員	1070	980	992	1010	1010	1010	1010	1010	1010	910

【公私立の比較】

公立と私立を比較すると公立は、増減を繰り返すも平成6年度に比べ143人減少しているが、私立は、平成21年度まで徐々に増加し、その後はほぼ横ばいとなり、平成6年度に比べ107人増加している。

公立	393	346	356	285	264	265	280	257	265	250
私立	411	407	428	512	511	521	526	520	526	518

保育所別の推移は、別紙資料1－2のとおり。

3 青堀保育園の民間移管について

現在の青堀保育園は、平成18年4月に公立保育所であった「青堀保育所」を民間移管した経緯があります。この民間移管とは、建物も譲渡し、設置主体と運営主体とも「民間」とする方法です。

平成15年1月の方針決定から移管までの経緯、移管後の経過は、別紙資料1－3のとおりです。